

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に移転・建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和４年３月末現在】

- 佐倉地区：面積 約 20.6 km² （佐倉市：面積 103.69 km²）
- 佐倉地区：住基人口 27,901人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 佐倉地区：人口密度 1,354人/km² （佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 地域への関心を高め、地域の特徴を活かした事業を、市民カレッジのほか、様々な世代に向けて実施していく。
- 施設利用者の安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、感染状況を見極めながら慎重に実施していく。
- 地域の活動諸団体と連携し、事業を展開する中で、団体の活動の充実を図る。
- 限られた予算で効果的に、優先度を考慮しながら修繕等を進めていく。

事業内容

1. 施設・備品の提供

- (1) 施設の提供（団体、グループ単位）
 - ① 開館時間 午前9時～午後9時
※月曜日・祝日・夜間利用がない場合、午後5時まで
 - ② 利用区分 1時間単位
 - ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）
- (2) 備品の提供（団体、グループ単位）
館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	5,930	5,364	4,720	1,649	3,490
利用人数 (人)	103,212	104,261	90,628	25,061	44,767
開館日数 (日)	333	333	318	272	334

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・千葉県に緊急事態宣言が発令されたため、
開館時間は午後 8 時まで

令和 3 年 11 月 15 日～・・・調理室の貸出を再開。ただし飲食は水分補給を除き不可とする

※開館日数が他館より多く、利用可能回数（下記）が施設により違う理由

上記のとおり調理室の貸出を再開し、また、令和 4 年 3 月 28 日に市教育委員会により教職員の辞令交付式を行ったため

令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,804	1,651	43.4%
研修室 1	3,796	1,070	28.2%
プレイルーム	3,796	179	4.7%
研修室 2	3,799	1,051	27.7%
研修室 3	3,796	968	25.5%
調理室	1,388	70	5.0%
和室	3,796	586	15.4%
会議室	3,796	920	24.2%
アトリエ	3,796	818	21.5%
工芸室	3,796	472	12.4%
学習室 1	3,796	1,263	33.3%
学習室 2	3,796	1,107	29.2%
学習室 3	3,796	1,195	31.5%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で土いじり 「親子で作ろう 夏の寄せ植え体験講座」	小学生と保護者 10組	6/19 21名	親子で植物や野菜を育てることを通して、自然に親しみ、育てることの楽しさを感じてもらおう。
	親子で土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学生と保護者 7組	7/31 15名 8/21 15名	親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ」	小学生と保護者 11組	8/9 25名	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらおう。
青少年教育	夏休み 子どもゼミナール	小学5年生以上 と家族 20人または25人	7/27 22名 8/6 26名 11/13 25名	和田公民館と共催。星空観察や環境(エコ)等について専門の講師を招き少人数制のゼミ形式で学ぶ。
	親子映画会	小学生とその保護者	10月 1回	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	四季の草木染めワークショップ	小学4年生 以上 10人	8/1 10名 10/10 10名 12/4 10名 3/5 動画収録	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。
	手作りのしめ縄飾りを作ろう	小学4年生から高校生とその保護者 10人程度	12/26 8名	しめ縄を作ることで、日本の伝統文化を学ぶ。
佐倉学	佐倉っ子塾 佐倉おみやげ探検隊	小学生 10人	11/13 7名	佐倉銘菓の老舗を探訪する佐倉学講座を行う。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町・新町 周辺歴史散策」	成人 20人	3/12	佐倉地区の史跡散策(初心者向け)を行う。
	佐倉学講座 YouTube 配信 「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」	成人 20人	3/16 動画収録	座学による佐倉の歴史講座を行う。
成人教育	成人教育講座 「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	成人 30人	12/19 29名	座学と竹細工の工作体験を行う。
	冬の寄せ植え 体験講座	成人 10人	12/12 11名	コロナ禍で心身が疲れきっている中で、制作を通して、少しでも心に余裕と潤いを持つひと時とし、また、寄せ植えを習得し、きれいなまちづくりの一助とする。
	千葉県文書館出前講座 房総の歴史講座「幕末・明治の西洋医と房総」	成人 20人	8/26	幕末・明治期は、伝染病流行などに対処するため、房総では佐倉順天堂や公立千葉病院などで西洋医学が発展した。本講座では、幕末・明治期の西洋医とそれを支えた人々に焦点を当て、房総の歴史を見直していく。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
		成人 57人	5月～2月 32回	
		第2学年		
		成人 69人	5月～2月 32回	
		第3学年		
		成人 62人	5月～2月 22回	
第4学年				
成人 74人	5月～2月 23回			
団 成 体 育	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 なし	活動休止	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。
広 報 活 動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー 事 業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *ビデオ教材1369本、DVD教材214本（ニーズと公益性に配慮して更新・購入予定）

1. 家庭教育事業

親子で土いじり「親子で作ろう 夏の寄せ植え体験講座」

①開設趣旨 親子で植物や野菜を育てることを通して、自然に親しみ、育てることの楽しさを感じてもらおう。また、協力して1つの物を制作することにより、コミュニケーションを図る機会とする。さらに寄せ植えを取得し、きれいなまちづくりの一助とする。

②募集対象 小学生と保護者 10組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月19日（土） 9：30～ 12：00	寄せ植えを親子で体験する。	ハンギングバスケット協会 高橋 洋子

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康で、欠席者はいなかった。

講座は、座学から始まり、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法・配置の仕方を学んでから、実際に体験を開始した。

受講生は、体験中、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、素晴らしい作品に仕上げることができた。また、講師の話術もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で講座を進めることができた。

受講者に話を聞くと、参加費が高い。という方と、妥当という方と、二分した。

アンケート結果を見ると、ほぼ「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「勉強になった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ！」

①開設趣旨 親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。

②募集対象 小学生と保護者 7組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（土） 9：30～ 12：00	親子で陶芸を体験する。	陶芸家 安本 幸世
2	8月21日（土） 9：30～ 12：00	作品に絵付けをする。	陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康で、欠席者はいなかった。

講座1日目は、講師のデモンストレーションの後、思い思いの作品を仕上げた。配布された土で複数の作製した者がほとんどだった。中には、小学生より保護者の方が、力が入った組もあった。

講座2日目、作品を識別するために、各自、名前やマークを記入し、乾かしている間、「陶芸とは」というテーマでの講義を行った。
 その後、素焼きした作品に絵付けを行った。
 講師が、体験中、受講者ひとりひとりに積極的に声かけをしてくれたおかげで、うまく形を整え、絵付けをし、みな素晴らしい作品に仕上げることができた。
 アンケート結果を見ると、ほぼ「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「勉強になった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。

②募集対象 小学生と保護者 11組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月9日（月） 10:00～ 12:00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラスールこども造形教室講師）

④講座を終えて 緊急事態宣言下で実施したため、キャンセルも多く出るかと思ったが、一組のみキャンセルとなり、アンケート結果を見ると、子どもだけでなく大人も楽しめるワークショップになったと思う。最初に先生が書き方などを指導したが、その後はめいめい自由にお絵かきを楽しみ、思い思いの水族館が完成した後は記念写真などを楽しんでいた。

ワークショップという形式をとり、先生が型にはめずに子どもたちの自由な感性を大事にした指導方法だったことが、成功した大きな要因になったと思う。

新型コロナウイルス感染防止対策として、参加者数、参加者年齢などを考慮し、窓スペースの指定を行った。会場は日が当たる場所だったので扇風機4台を回し、水分補給を促すことで熱中症対策を行った。また、使う材料、道具は各組用意し、使いまわすことのないようにした。

今後も感染対策をきちんと取りながら、大人と子どもが一緒になってアートを楽しむお絵かきワークショップを実施していきたいと考える。

2. 青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和3年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。
- ②募集対象 小学5年生以上と家族 20人または25人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（火） 13:30～ 15:30	牛乳パックDE紙すきうちわをつくろう 牛乳パックを原料に紙すきをして色とりどりのうちわを作って「紙のリサイクル」を学ぶ。	千葉県温暖化防止活動推進員 廣田 由紀江
2	8月6日（金） 10:00～ 11:30	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい解説で学ぶ。	銚子地方気象台 園田 麻帆
3	11月13日（土） 18:30～ 20:00	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	天体観望会支援グループ「宇宙魅せ隊」代表代行 芳野 雅彦

- ④講座を終えて 毎年継続して開催しており、近年は宇宙をテーマにしている「子どもゼミナール」であるが、今年度より、子どもたちに幅広く科学について興味を持っていただければと、一つの分野だけでなく様々な科学に関する分野から講座を計画した。どの講座も、子どもたちもご家族の方々も興味深く受講をしていたようだった。牛乳パックで紙すきうちわを作るときは色紙を混ぜたが、参加者たちは色とりどりのうちわ作りを楽しんでいた。この講座では、同じようなやり方でカラフルな紙すきハガキも作ることができた。環境問題からその重要性がいわれている「リサイクル」だが、このようにエンタメとしても活用できることに感心している。天気予報についての講義も分かりやすく、銚子地方気象台の方々に簡単な模型を使って竜巻のできる様子などを実演していただき、当時放送されていたNHKの連続テレビ小説の題材も相まって、参加者の気象に関する理解がより深まったように思う。星空観察は、当初は8月下旬に予定をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の最中で緊急事態宣言が発令中だったことで、11月に延期をした。晩秋の夜空は鮮やかで、非常に良好な状態で木星や星団などを観察することができ、参加者たちも非常に満足をされたようであった。来年度以降も現在の路線を継続し、できれば新しい分野にも目を向けて開催できるようにしたいと考えている。

親子映画会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

四季の草木染めワークショップ

- ①開設趣旨 身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によつ

て生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。

②募集対象 小学4年生以上 各10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 1日（日） 9：00～ 12：00	お日様で染める柿渋染め	染織家 濱口 さえこ
2	10月10日（日） 9：00～ 12：00	身近な植物で染める草木染め（ビワの葉染め）	
3	12月 4日（土） 9：00～ 12：00	染め直しをたのしむ（栗のイガ染め）	
4	（動画収録日） 3月 5日（土） 13：00～ 16：00	藍染めを楽しむ～春を染める藍～ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTube動画配信のみ実施 （令和4年4月27日配信）	和田はたおり保存会

④講座を終えて

実施回数が4回（4回目の3月開催分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信）だったので、春、夏、秋、冬の季節に分け、佐倉市の四季の植物を使って染め物ワークショップを実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、定員を10人としたので、毎回抽選となった。

参加者の皆さん全員が草木染めに興味がある方ばかりで、全ての作業に積極的に参加していただいた。先生に質問する参加者も多く、活発なワークショップになったと思う。草木染めをする過程で、参加者の皆さんがだんだん打ち解け、和気あいあいとした雰囲気になったのも、10人という少人数で開催した利点と考えられる。先生が横のつながり、仲間づくりの場となるようなワークショップにしたいとおっしゃっていたが、その点において非常に成功したものになったのではないかと。アンケート結果も非常に満足度の高いものとなった。今後も佐倉市の植物を使い、佐倉市の四季を感じてもらえる草木染めワークショップを行っていきたく考えている。

手作りのしめ縄飾りを作ろう

①開設趣旨 日本には新年を迎えるための行事の一つとして、しめ縄飾りを作る習慣がある。しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、今回は玄関に飾れる「輪飾り」を作る。

日頃作ることがないしめ縄飾りを自分の手で作るにより、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらうことをねらいとしている。また、素材となるワラについては、地元生産者の協力を求めて、地域産業を知る機会にもする。

②募集対象 小学4年生から高校生とその保護者 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月26日（日） 9：30～12：00	基本的に1人1つの「輪飾り」を作る。家族単位の参加も可能とし、その場合は、親子で1つの飾りを作る。	市内ワラ生産者 藤崎 言行

- ④講座を終えて 当日は小学生6人、中学生2人が参加し、初めに職員による事業説明の後、講師の藤崎氏より青ワラとしめ縄飾りに関する講義を受ける。次に工作体験に移り、ワラぶち、しめ縄づくり、飾りつけの順序で作業を進めた。工作体験については初めての作業となるものが多く、全員が1つの工程を終了してから次の作業に移るように配慮し、参加者全員が完成までたどり着くことができた。アンケート調査結果では、全員が本講座を楽しんでおり、次回の講座参加を希望している。伝統行事を実感できる貴重な体験であり、子どもたち自身新たな発見があって、本講座の意義は高いものと思われる。なお、日本の伝統文化を知る講座を開いてほしいとの要望も出てきている。

佐倉っ子塾 佐倉おみやげ探検隊

- ①開設趣旨 小学校の授業の佐倉学は、豊かな自然や、佐倉で業績を残した先人について学習しているが、学校では学ぶことが少ない佐倉のお土産をテーマにする。今年度は、佐倉銘菓を取り上げ、銘菓と販売する老舗について学び、それぞれの誕生秘話を知る機会とする。

- ②募集対象 小学生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月13日（土） 10：00～ 11：30	銘菓と販売する老舗について学び、それぞれの誕生秘話を知る。	株式会社木村屋 会長 鶴澤 弓子

- ④講座を終えて コロナウイルス感染拡大防止のため、当日は、入館時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いした。健康で、欠席者はいなかった。参加児童が少なかつたため、急遽、保護者の方をお願いし、同行していただいた。（地域新聞の取材も入った）
講座は、会長の軽快な話術で、和やかな雰囲気が進んでいった。一通り銘菓や老舗について話が終わった後は、お店の裏にある蔵の中の家宝も見学した。
アンケート結果を見ると、「蔵六餅をよく知れてよかった」等の意見があり、蔵六餅は、昭和29年佐倉市誕生とともに発売されたこと、佐倉藩主・堀田家に伝わる家宝「蔵六石」にちなんだおめでたい亀甲模様になったことなど、理解してもらえたと思う。

3. 成人教育事業

佐倉学講座「佐倉・城下町 新町周辺歴史散策」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座 YouTube配信「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」

①開設趣旨 講師がフィールドワークによって得た知識と豊富な歴史的史料等から解説を行う講座であり、より深い佐倉の歴史を学ぶことができる。

毎年、貴重な史料を元に講義を行っていただいている。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	動画収録日（曜日）	学習内容	講師
1	3月16日（水）	講演「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」 （令和4年3月28日配信）	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一

④講座を終えて 当初は公開講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、千葉県がまん延防止等重点措置の対象地域となったため、動画配信による講座に切り替えた。

市民が講師の話を直に聞く形式は、昨年に引き続き叶わなかったが、この形にすることで、理解しづらかった点を繰り返し視聴するなど、自分のペースで受講ができることは利点ではないかと思う。

成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」

①開設趣旨 伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月19日（日） 10:00～ 12:00	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、「皮ひき」体験コーナーの設置、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて 開催当日は2人欠席で、1人が親子参加となったため、全員で29人。これに公民館運営審議会委員2人、他館の公民館職員1人が参加し、総計32人が講座を受講。保存会会長による会の概要説明に続き、副会長がパワーポイントを使って「竹」の特性について詳しく講義。その後、参加者を5～6人のグループに分けて、各グループに保存会のメンバー1人が付いて、「握り籠づくり」体験を行う。今回は身近な「竹」を素材にした伝統工芸に触れ、実際に工作体験をする講座としたが、アンケート結果から参加者の満足度は高い評価を得ることができ、また、伝統工芸に対する関心も高まり、自分で物づくりをしてみたいと考える者が大方を占めていることから

も、参加者自身の意識変化が認められ、適切な講座内容であったと考えられる。これは、コロナの影響による在宅時間の増加から、閉塞感と孤独感が高まり、日常生活に不安や不満も高まっていることと関連するものと思われる。

冬の寄せ植え体験講座

①開設趣旨 新型コロナウイルス感染症で、心身が疲れきっている中で、制作を通し、少しでも心に余裕と潤いを持つひと時とする。また、寄せ植えを習得し、きれいなまちづくりの一助とする。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月12日（日） 9：30～ 12：00	寄せ植えを体験する。	ハンギングバスケット協会 高橋 洋子

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康であったが、急遽、都合で材料の持ち帰りが1人あった。

講座は、座学から始まり、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法・配置の仕方から、実際に体験を開始した。

受講生は、体験中、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、素晴らしい作品に仕上げることができた。また、講師の話術もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で講座を進めることができた。

アンケート結果を見ると、「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「知らないことばかりだった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

千葉県文書館出前講座 房総の歴史講座「幕末・明治の西洋医と房総」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための4年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、4年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して4年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な4年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年より世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度は佐倉市民カレッジを休講とした。

今年度は、このウイルスへの対処法がある程度分かってきており、また、市民へのワクチン接種の目途が立ったことから、以下の感染拡大防止策を講じながら開講した。

- ・ 入学定員の減少(100人から80人に)
- ・ 風邪症状のあるときは欠席。来館時はマスク着用
- ・ 3密を避けながらの講義(例えば、1年生及び2年生の授業を人同士の間隔が十分に取れる大ホールで行う)
- ・ 講義中は窓やドアを開け換気を行う
- ・ 手指消毒及び使用後の教室の消毒の徹底
- ・ 感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした。
- ・ 1日の授業時間を午前または午後の半日とする
- ・ 館内での水分補給以外の飲食禁止
- ・ 施設見学等の課外活動は極力控える
- ・ 令和4年1月21日から千葉県が「まん延防止等重点措置」の対象区域となったことを受けて、1月25日以降は生徒の登校を止め、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブ

サイト上で動画配信する形を取った

4. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和3年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 80人	64人	62人

※令和3年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	31	62	31	57
	2 組	31		26	
第2学年	1 組	40	73	39	69
	2 組	33		30	
第3学年	福 祉	12	62	12	62
	歴 史	18		18	
	情 報	20		20	
	元 気	12		12	
第4学年	福 祉	21	75	21	74
	歴 史	19		19	
	情 報	16		16	
	元 気	19		18	
計			272		262

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任に

おいて行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、産業と農業、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。例えば、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では付せんを利用して意見集約する手法の体験等を実施している。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① 「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

② 「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成を、4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和3年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

令和3年度は前述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、校外学習を極力控えている。

○校外学習

3 学年	5月25日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6月22日	歴史	臼井の歴史散策
	9月28日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	10月29日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	11月 2日	歴史	志津の歴史散策
4 学年	6月11日	歴史	新町の歴史散策
	6月25日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ

7. 令和3年度の主な行事

(1) 入学式・始業式

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は5月13日(木)に行われ、62人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「佐倉市民カレッジの建学の精神は「為(な)すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他(た)に尽くす」こととさせていただきます。

皆様は佐倉市民カレッジ第二十九期生として、四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土について学ぶほか、地域や社会の課題となっている分野についても、互いに助け合い、励まし合いながら学習に取り組んで頂きます。皆様におかれましては、健康に十分留意され、新たな仲間と過ごす日々を大切にしながら、自らの生活に潤いを感じ、地域の中でも活躍できる場を創造していただくことを切に願っております。」(抜粋)との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を宣言した。

始業式は5月11日(火)に3年生、翌12日(水)に2年生、その翌々日14日(金)に4年生について行われた。

(2) 展示・発表会

例年、11月上旬～中旬に4日間にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場としてグループ活動や展示活動が行われ、卒業生もグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)をして、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

しかしながら、令和2年より続くコロナ禍により、感染拡大防止のため、令和3年度は、生徒が集まって開催する形ではなく、佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で、あらかじめ録画をした生徒の絵画・書道・手工芸等の作品展示及び研究成果の発表を行うという形で、11月9日(火)から11月22日(月)にわたり行った。展示された作品及び研究発表は、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和4年1月12日(水)に1・2年合同の学習形態で、また、1月19日(水)に西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「こども食堂」「チーム城跡めぐり28」「ウォーキングde さくら再発見」「佐倉里山支援28」「佐倉コミュニティバス旅28」「古道28」「この木何の木調べ隊」の7グループであった。

(4) 卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、当初は令和4年2月上旬に学年ごとに行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により千葉県に「まん延防止等重点措置」が出され、生徒が集まった形での式典は中止となった。

代替として、1年生から3年生には、佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で、西田三十五総長の修了式辞の動画配信を行った。

また、卒業生には、3月25日(金)に、専攻コースごとに分かれて、卒業証書の授与及び職員で作成した「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」の視聴を行った。

皆勤者9人を含む佐倉市民カレッジ第26期生74人が、今後の活躍を胸に秘めなが

ら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」の中で、

「皆様は、新型コロナウイルス感染拡大による、休校期間を含め5年間、学習活動を継続してこられました。休校期間中には、改めて、自身の健康や家族との絆、そして、カレッジ生同士のコミュニケーションなど、日常のありがたさを痛感したのではないかと思います。

コロナ禍の試練を乗り越え、無事に学業を修了されましたことは、皆様の人生におかれましても、大きな意味を持つものと存じます。本日の喜びを、学友と分かち合い、また、カレッジ生活を、支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思っております。

市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。

佐倉市が将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるためには、卒業生の皆様が学んでこられた知識や、お互いに高めてきた行動力や実践力が、大変、重要となってまいります。

今後とも、縁あって出会った、多くの仲間と共に、力を合わせ、日々、充実した思いを持ち、益々のご活躍をご期待いたしますとともに、卒業生の皆様方の、更なるご健勝とご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。」(抜粋)との言葉を述べた。

「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」には、総長の式辞、在校生からの送辞、卒業生からの答辞、それから卒業生が市民カレッジで過ごした4年間を記録した写真及び動画が流され、卒業生は感慨深く視聴していたようだった。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（1）

		9 : 45 ~ 10 : 00 (HR) 10 : 00 ~ 11 : 45 (授業)	13 : 10 ~ 13 : 15 (HR) 13 : 25 ~ 15 : 10 (授業)
1	5/13 (木)	入学式、カレッジ概要	
2	5/20 (木)	HR 避難訓練 自己紹介 (社会教育指導員)	
3	5/27 (木)	ウォークラリー (4年元気コース、社会教育指導員)	
4	6/3 (木)	佐倉の歴史概要 各地区の成り立ち (文化課)	
5	6/10 (木)	自治会の役割と市民協働 (自治人権推進課)	
6	6/17 (木)	人生は後半が面白い (「いきがい いばらき」代表 竹谷 輝男)	
7	6/24 (木)	水環境と人間生活 (元印旛沼環境基金上席研究員 本橋敬之助)	
8	7/1 (木) ※新型コロナ ウイルスのた め休講	地域の実践者に学ぶ(現地) : 1組 私のいきがい : 2組 (社会教育指導員)	
9	7/8 (木)	私のいきがい (社会教育指導員)	
10	7/15 (木)	佐倉市の地域福祉 (佐倉市社会福祉協議会)	
11	9/2 (木)	私のいきがい発表② (社会教育指導員)	
12	9/9 (木)	男女平等参画について (城西国際大学国際人文学部 国際文化学科 准教授 遠藤恵子)	
13	9/16 (木)	佐倉市立美術館 ミテ・ハナソウ体験	
14	9/30 (木)	佐倉市の文化・文化財行政 (文化課)	
15	10/7 (木)	佐原まちぐるみ博物館に学ぶ (佐原おかみさん会)	
16	10/14 (木)	楽しみながらできる健康づくり (順天堂大学名誉教授 武井正子)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（2）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
17	10/21 (木)	世代間交流動画づくり① (社会教育指導員)	/
18	10/28 (木)	絆を引き継ぐ世代間交流 (東京都健康長寿医療センター 研究所研究員 高橋知也)	
19	11/4 (木)	世代間交流動画づくり② (社会教育指導員)	
20	11/11 (木)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
21	11/18 (木)	佐倉の農業 (農政課)	
22	11/25 (木)	世代間交流動画づくり③ (社会教育指導員)	
23	12/2 (木)	郷土の歌人 香取秀真の短歌に親しむ (斎藤茂吉記念館長 秋葉四郎)	
24	12/9 (木)	世代間交流④ (動画視聴)	
25	12/16 (木)	今年の国際情勢 (敬愛大学教授 敬愛大学総合地域研究所所長 水口章)	
26	12/23 (木)	佐倉市の観光・地域産業 (産業振興課)	
27	1/6 (木)	水の都・佐倉 (元千葉敬愛短期大学学長 酒々井町青樹堂名誉塾長 堀田和弘)	
28	1/12 (水) 【※水曜日】	2年生のまちづくり実践報告 (2年生、社会教育指導員)	
29	1/20 (木)	里山の生態 (東京情報大学客員教授 原慶太郎)	
30	1/27 (木)	房総ゆかりの作家波の伊八と葛飾北斎 (筑波大学名誉教授 齊藤泰嘉) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
31	2/3 (木)	高齢社会をどう生きるのか (聖徳大学教授 川口一美) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
32	2/10 (木)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/12 (水)	始業式・HR	
2	5/19 (水)	私たちのまちづくり① (社会教育指導員)	
3	5/26 (水)	まちづくり事例紹介	私たちのまちづくり② (社会教育指導員)
4	6/2 (水)	地域福祉とは (順天堂大学スポーツ健康科学部 前任准教授 松山毅)	
5	6/9 (水)	私たちのまちづくり③ (社会教育指導員)	
6	6/16 (水)	佐倉の鉄道史 (鉄道史研究家 白土貞夫)	
7	6/23 (水)	子どもの人権 (認定NPO法人児童虐待防止 全国ネットワーク理事 高祖常子)	
8	6/29 (火) 【※火曜日】	住民参加のまちづくり (千葉大学大学院准教授 森永良丙)	
9	7/7 (水)	私たちのまちづくり④ (社会教育指導員)	
10	7/14 (水)	佐倉の住みよさと住まいの終活 (千葉大学名誉教授 服部岑生)	
11	9/1 (水)	佐倉市神社の祭礼 (麻賀多神社宮司 宮本勇人)	
12	9/8 (水)	人工知能 コンピュータにできること (東京情報大学 准教授 マッキン・ケネスジェームス)	
13	9/16 (木) 【※木曜日】	社会生活とボランティア活動 (神奈川大学教授 齊藤ゆか)	
14	9/22 (水)	原始古代の佐倉 印旛沼周辺の人々 (印旛郡市文化財センター調査課 小倉和重)	
15	9/29 (水)	佐倉学について (佐倉市史編さん委員 内田儀久、 社会教育課)	
16	10/6 (水)	地域実践者から学ぶ (佐倉市民生委員・児童 委員協議会 会長 小林眞智子)	私たちのまちづくり⑤ (社会教育指導員)

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)		
17	10/14 (木) 【※木曜日】	ころころサポーター（ゲートキーパー）養成 研修 聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口学			
18	10/20 (水)			私たちのまちづくり⑥ (社会教育指導員)	
19	10/27 (水)			房総と文学 佐倉の文学風土 (元江戸川大学教授文芸評論家 鳥海宗一郎)	
20	11/10 (水)			展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
21	11/19 (金) 【※金曜日】			身近な法律知識 訴訟と人権 (弁護士 法政大学法科 大学院教授 高須順一)	
22	11/24 (水)			私たちのまちづくり⑦ (社会教育指導員)	
23	12/1 (水)			私たちのまちづくり⑧ (社会教育指導員)	4コース代表者説明 (4年コース代表、 社会教育指導員)
24	12/8 (水)			郷土史に関心を持つ契機となった 飯沼飛行士 (中央公民館 小暮達夫)	
25	12/15 (水)			河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方 (千葉工業大学名誉教授 瀧和夫)	
26	12/22 (水)			私たちのまちづくり⑨ (社会教育指導員)	
27	1/5 (水)			高齢者福祉の取り組みと認知症 (高齢者福祉課)	
28	1/12 (水)			まちづくり実践報告に向けて (1年生、社会教育指導員)	
29	1/19 (水)			まちづくり実践報告 (総長、館長、社会教育指導員)	
30	1/26 (水)			情報とリスク (東京情報大学名誉教授 成瀬敏郎) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
31	2/2 (水)			平成の佐倉市とカレッジ史 (佐倉市史編さん委員 内田儀久) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
32	2/9 (水)			修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(45deg);"></div>
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員、 福祉コース卒業生 (第25期生))	
3	5/25 (火)	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(45deg);"></div>	福祉サービスの基本 (社会福祉法人誠友会 理事長 竹内淳)
4	6/1 (火)		高齢者に多い疾患の基礎と予防・対処方法 (佐倉白翠園 看護長 後田恵子)
5	6/29 (火)	車椅子の種類、構造、介助方法 (高齢者福祉課)	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(45deg);"></div>
6	7/6 (火)	障害者福祉制度の概要 (NPO法人千葉市視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司)	
7	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	
8	9/7 (火)	介護保険制度の概要 (介護保険課)	
9	9/14 (火)	笑いヨガと自力整体 (自力整体ナビゲーター 秋田美智子)	
10	9/21 (火)	高齢期の栄養と食生活の在り方 (健康推進課) [3年福祉元気合同]	
11	10/5 (火)	聴く技術 (東京メンタルヘルスチーフカウンセラー 淵上規后子)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
12	10/12 (火)	生活習慣病予防 (健康運動指導士 加藤未来) ※6月16日の講義がこの日に変更になりました	
13	10/19 (火)	介護技術の基礎① (佐倉白翠園 施設長 安宅香織 介護主任 中村大輪)	
14	10/26 (火)		地域包括支援センターについて (佐倉市南部地域包括支援センター)
15	11/2 (火)	子育て支援の現状と課題 (千葉敬愛短期大学教授 吉村真理子)	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)	移乗動作と歩行介助 (高齢者福祉課)	
18	11/30 (火)	聴覚障害を理解する (障害福祉課)	
19	12/7 (火)	介護技術の基礎② (佐倉白翠園 ユニット型介護長 玉木伸和)	
20	12/21 (火)		
21	1/11 (火)		嘔む喜びと食べることの意義 〔3年福祉3年元気合同〕 (歯学博士 鳩貝尚志)
			子どもの貧困について (千葉県スクールソーシャルワーカー 飯野弥生)
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	/
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)	大佐倉の歴史散策 (まちづくり支援ネットワーク佐倉)	
4	6/15 (火)	/	中世佐倉の道 (市文化財審議委員 遠山成一)
5	6/22 (火)	白井の歴史散策 (文化財ボランティアガイド佐倉 滑川洋子)	/
6	7/6 (火)	/	佐藤泰然と佐倉順天堂 (文化課)
7	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	/
8	8/31 (火)	佐倉藩土と沼津兵学校 (国立歴史民俗博物館教授 樋口雄彦)	
9	9/7 (火)	/	本佐倉城跡と白井城跡の発掘成果と 東国の戦国時代 (国立歴史民俗博物館名誉教授 小野正敏)
10	9/21 (火)	佐倉城下町の祭礼文化について (祭礼文化研究家 鶴岡勝人)	/
11	9/28 (火)	佐倉地区の歴史散策 (中央公民館 小暮達夫)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/19 (火)	浅井忠と佐倉ゆかりの芸術家 (佐倉市立美術館)	
13	10/26 (火)	佐倉牧 (市文化財審議委員 立教大学 兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤美紀)	
14	10/29 (金) 【※金曜日】	成田山の歴史を学ぶ (成田市文化財審議委員会 委員長 小倉博)	(課外) 成田山の歴史を学ぶ (希望者向け見学コースあり)
15	11/2 (火)	志津の歴史散策 (NPO法人佐倉一里塚) 現地	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)		古今佐倉真佐子について (佐倉市史編さん委員 外山信司)
18	12/7 (火)	佐倉の歴史的建築物 (市文化財審議委員、国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士)	
19	12/14 (火)	中世佐倉の鹿島郷 (酒々井町文化財審議会会長 高橋健一)	
20	1/11 (火)	津田仙 近代農業のさきがけ (津田仙の曾孫 津田道夫)	
21	1/18 (火)	カレッジ生が取り組みたい研究テーマ (各自発表) (市史編さん委員 内田儀久)	
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)	情報発信するときに心がけること (合同会社環賢堂代表社員 玉木 勝)	
4	6/8 (火)	スマホの活用 (ドコモショップ佐倉志津店 営業企画担当 主任 鈴木義和)	情報発信① (社会教育指導員)
5	6/15 (火)		
6	6/22 (火)	ワード① (カレッジ情報コース22期卒業生)	ワード② (カレッジ情報コース22期卒業生)
7	7/6 (火)		
8	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	情報発信② (社会教育指導員)
9	9/7 (火)		
10	9/21 (火)		ZOOM体験 (社会教育指導員)
11	9/28 (火)	おカネとITの経営戦略 (東京情報大学准教授 樋口大輔)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/12 (火)	電子マネー (ドコモショップ佐倉志津店 営業企画担当 主任 鈴木義和 担当講師 石渡康英)	
13	10/19 (火)		インターネットウイルスの歴史 (東京情報大学准教授 岸本頼紀)
14	10/26 (火)	インターネット活用術 (株式会社 教育システム 本間達哉)	
15	11/2 (火)	情報発信③ (社会教育指導員)	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)		ワード③ (カレッジ情報コース22期卒業生)
18	12/7 (火)	情報発信④ (社会教育指導員)	
19	12/14 (火)		情報化社会と著作権 (一社)コンピュータソフトウェア著作権協会 専務理事 久保田裕)
20	1/11 (火)	ワード④ (カレッジ情報コース22期卒業生)	
21	1/18 (火)	情報発信⑤ (社会教育指導員)	
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	/
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)	/	ウォークラリーコースをつくろう① (社会教育指導員)
4	6/1 (火)	熱中症予防と水分補給 (NPOニッポンランナーズ ランニングコーチ 中田修弘)	/
5	6/15 (火)	/	ウォークラリーコースをつくろう② (社会教育指導員)
6	6/29 (火)	チームワークを考える (順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科教授 水野基樹)	/
7	7/6 (火)	/	高齢期の健康法 (順天堂大学名誉教授 武井正子)
8	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	/
9	9/7 (火)	薬と生活習慣 ((株)健栄)	
10	9/14 (火)	太極拳静かな動きを体験しよう (佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子)	
11	9/21 (火)	高齢期の栄養と食生活の在り方 (健康推進課) [3年福祉元気合同]	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/5 (火)	ウォークラリーコースをつくろう③ (社会教育指導員) 現地	
13	10/19 (火)	ウォークラリーコースをつくろう④まとめ (社会教育指導員)	
14	10/26 (火)		ウォークラリーコースをつくろう⑤実践 (社会教育指導員)
15	11/5 (金) 【※金曜日】	体組成測定と健康づくり (健康推進課) 〔3年元気4年元気合同〕	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)	生活習慣病と健康 (日本ウェルネススポーツ大学教授 鈴木勝彦)	
18	11/30 (火)	歓迎ウォークラリーに向けて① (社会教育指導員)	
19	12/7 (火)	歓迎ウォークラリーに向けて② (社会教育指導員)	
20	12/21 (火)		
21	1/11 (火)	ヨガ ゆったりとリフレッシュしよう (インストラクター 岡本美鈴)	嘔む喜びと食べることの意義 (歯学博士 鳩貝尚志) 〔3年福祉3年元気合同〕
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
3	5/28 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
4	6/4 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
5	6/18 (金)	ボランティア活動の心構え (佐倉白翠園施設長 安宅香織)	
6	6/25 (金)	発達障害を理解する (成田市教育相談員 塩田邦子)	
7	7/2 (金)	元気なうちから始める介護予防 (高齢者福祉課)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
10	9/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
11	9/17 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年福祉元気合同〕	
12	9/24 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/8 (金)	情報コースによる 学び合い	歴史コースによる 学び合い
14	10/15 (金)	情報コースを 招待して	歴史コースを 招待して
15	10/22 (金)	元気コースによる 学び合い	元気コースを 招待して
16	11/5 (金)	こころに触れる生かすカウンセリング (東京メンタルヘルスチーフカウンセラー 淵上規后子)	
17	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
18	12/3 (金)	傾聴心得 (学校カウンセラー・スーパーバイザー 根本栄治)	
19	12/17 (金)	心と身体を守るための感情コントロール (日本アンガーマネジメント協会 山岸和子) 〔4年福祉元気合同〕	
20	1/7 (金)	福祉活動の実践に向けて ／卒業に向けて (社会教育指導員)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
3	5/28 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
4	6/11 (金)	新町の歴史散策 (酒々井町文化財審議会会長 高橋健一)	
5	6/18 (金)	近世佐倉の道 成田道 (八千代市郷土歴史研究会 村田一男)	(課外) 佐原のまちづくりを学ぶ (希望者向け見学コースあり)
6	6/25 (金)	佐原のまちづくりを学ぶ (NPO法人小野川と佐原の 町並みを考える会)	
7	7/2 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	幕末明治に海を渡った佐倉人 (市史編さん委員 内田儀久)	
10	9/10 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年歴史情報合同〕	
11	9/24 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
12	10/8 (金)	元気コースを 招待して	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/15 (金)	元気コースによる 学び合い	福祉コースによる 学び合い
14	10/22 (金)	情報コースによる 学び合い	情報コースを 招待して
15	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
16	11/26 (金)	堀田正倫と地域関わり (中央大学文学部人文社会学科 宮間純一)	
17	12/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
18	12/10 (金)	佐倉炭 (千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人)	
19	12/17 (金)	歴博を楽しむ (国立歴史民俗博物館館長 西谷大)	
20	1/14 (金)	研究論文の発表 (元社会教育指導員 内田儀久)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
3	5/28 (金)	映像作品ができるまで (広域高速ネット296放送制作部係長 平川裕)	
4	6/11 (金)	情報化時代における消費者トラブル (消費生活センター)	
5	6/18 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
6	6/25 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
7	7/2 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	
10	9/10 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年歴史情報合同〕	
11	9/24 (金)	学び合い⑤ (社会教育指導員)	
12	10/8 (金)	福祉コースを 招待して	元気コースを 招待して

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/15 (金)	福祉コースによる 学び合い	元気コースによる 学び合い
14	10/22 (金)	歴史コースを 招待して	歴史コースによる 学び合い
15	11/5 (金)	自主企画講座（社会教育指導員）	
16	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/26 (金)	エクセル① (カレッジ情報コース22期卒業生)	
18	12/10 (金)	エクセル② (カレッジ情報コース22期卒業生)	
19	12/17 (金)	報道の現場から (元日本テレビ放送網報道局 町田博祐)	
20	1/14 (金)	情報コース活動の振り返り ／卒業に向けて (社会教育指導員)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	ウォークラリーに向けて (社会教育指導員)	
3	5/27 (木) 【※木曜日】	ウォークラリー (1年、4年元気、社会教育指導員)	
4	6/4 (金)	ターゲットバードゴルフ (佐倉市ターゲットバードゴルフ協会 伊藤國彦)	
5	6/18 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
6	6/25 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
7	7/2 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	自力整体と笑いヨガ (自力整体インストラクター 秋田美智子)	
10	9/3 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
11	9/17 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年福祉元気合同〕	
12	9/24 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/8 (金)	歴史コースによる 学び合い	情報コースによる 学び合い
14	10/15 (金)	歴史コースを 招待して	情報コースを 招待して
15	10/22 (金)	福祉コースを 招待して	福祉コースによる 学び合い
16	11/5 (金)	体組成測定と健康づくり (健康推進課) 〔3年元気4年元気合同〕	
17	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
18	12/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
19	12/17 (金)	心と身体を守るための感情コントロール (日本アンガーマネジメント協会 山岸和子) 〔4年福祉元気合同〕	
20	1/7 (金)	卒業後の健康づくり／卒業に向けて (社会教育指導員)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・『なかま』『佐倉市民カレッジ情報紙「カレッジ・インフォメーション」』等、中央公民館発行の広報紙
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
 - ・新型コロナウイルスの感染状況に関する情報
 - ・新型コロナウイルス感染防止のための利用案内及び開館状況に関する情報
- ④展望 市の広報紙を見る機会のない方にも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響による開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった人たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や閉館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
- ツイッターアカウント名：@sakura_chuokou
- フェイスブック：
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト（ツイッターでは140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者は年々減少している。その原因として、これまで公

民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないことが考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった人に情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設する。そのことによりリモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q/featured

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）

- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取り扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 本年度は、過去に行った講座の様子を撮影した動画や、コロナ禍により中止になった対面講座の代替としての講座の動画も作成が行われた。

動画という形に残ることで、都合により来館できない方も学ぶことができ、また、視聴者は繰り返し視聴して講座内容への理解を深めることができるという動画配信ならではの利点に改めて気づかされる。

今後も、多彩な公民館事業の動画により、視聴者に教養を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ ほか
- ④展望 機材の修繕を適切に行いつつ、市民のニーズに沿い、かつ、市民の教養を深める教材の購入を進めていく。